

小平第三中学校体育館に関する更新等について（案）

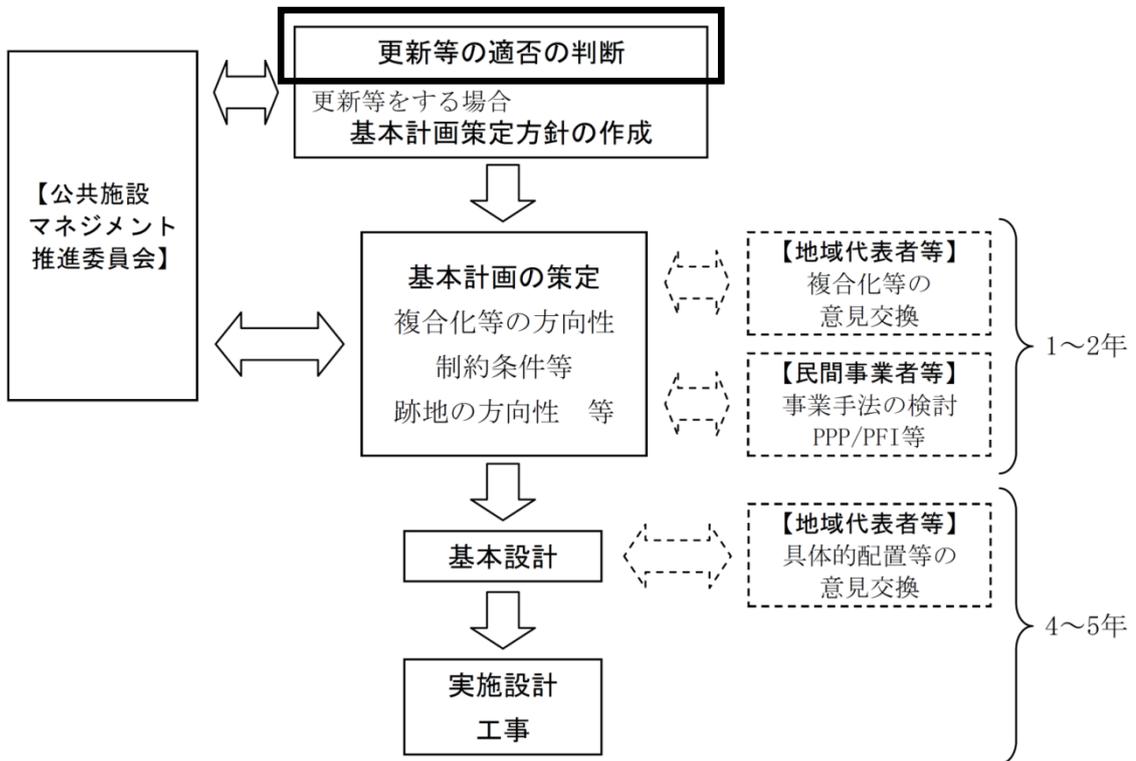
1 背景及び位置づけ

2015（平成27）年2月に「小平市公共施設白書」を発行し、同年12月に「小平市公共施設マネジメント基本方針」を策定しました。白書で示した将来的な大きな3つの課題（「人口減少・少子高齢化」、「財政バランスの悪化」、「施設の老朽化・更新時期の集中」）に対応するため、基本方針では市制施行100周年を迎える2062（令和44）年度を見据え、「いつまでもわくわくする場をみんなで創ろう」という基本理念と4つの方針（「魅力あるサービスの実現」、「持続可能な施設総量」、「コストの縮減と平準化」、「長く活用できる施設」）を定めました。

また、基本方針に沿った取組の推進に向けた方策を示した「小平市公共施設マネジメント推進計画」（2017（平成29）年3月）では、すでに目標耐用年数を迎えた施設、または計画期間中に目標耐用年数を迎える施設の更新等に向けた「基本的な検討手順」を示しています。

この「基本的な検討手順」に沿い、小平第三中学校体育館に関する更新等の適否の判断をします。

なお、小平第三中学校は、校舎と体育館の目標耐用年数到来年が近いことから、更新等の適否は校舎と体育館を同時に判断することとしました。



小平市公共施設マネジメント推進計画より抜粋

2 対象施設の概要

(1) 小平第三中学校

①所在地	鈴木町一丁目311番地
②用途地域（建ぺい率・容積率）	第一種低層住居専用地域（40％・80％）
③土地面積	19,447.03㎡
④土地の所有形態	市有地
⑤建築年または改築年	校舎 1980年（昭和55年） 体育館 1968年（昭和43年）
⑥構造	校舎 鉄筋コンクリート造 体育館 鉄筋コンクリート造、一部重量鉄骨造
⑦建築面積（建ぺい率）	校舎 3,067.35㎡（15.77％） 体育館 714.00㎡（3.67％）
⑧延床面積（容積率）	校舎 7,049.36㎡（36.24％） 体育館 808.40㎡（4.15％）
⑨階層	校舎 地上3階 体育館 地上2階
⑩構成（部屋名）	校舎 普通教室、特別教室、職員室、プール等 体育館 体育アリーナ、ステージ、放送室、更衣室等
⑪経過年数、目標耐用年数（到来年）	校舎 42年経過、60年（2039年） 体育館 54年経過、60年（2027年）
⑫現行耐震基準	適合
⑬避難所指定	校舎（一部）・体育館 避難所 校庭 いつでも避難場所
⑭設置目的	小学校における教育の基礎の上に、心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育を施す
⑮サービス内容	普通教育
⑯同分類(類似)施設	【施設分類】学校（学校教育系施設） 【同分類(類似)施設】小学校、中学校

3 更新等の適否の判断

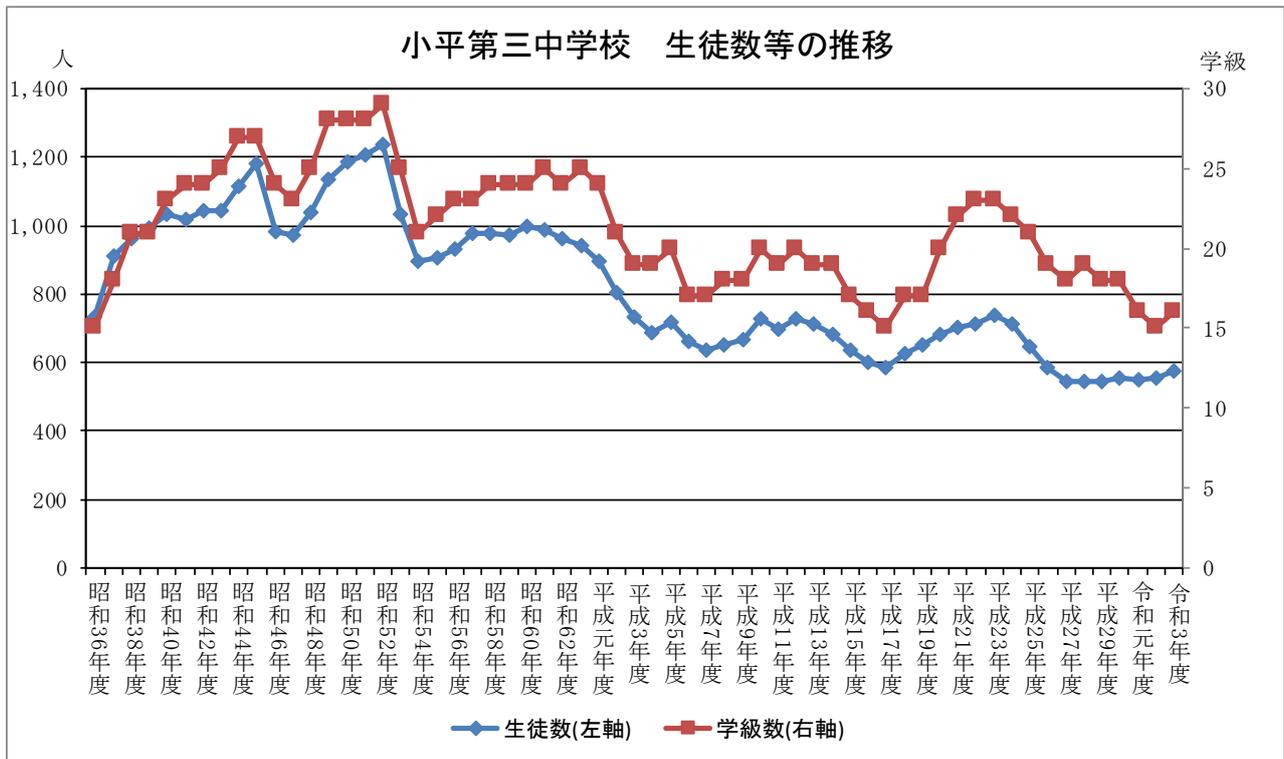
(1) 小平第三中学校

小平第三中学校は、小平第一中学校の分校として1961（昭和36）年に開校し、2021（令和3）年には、創立60周年を迎えます。

校舎は、1967（昭和42）年から1981（昭和56）年にかかる建設により、現在の校舎形状となりました。体育館は、1968（昭和43）年に建設しています。

① 生徒数の推移

生徒数は、開校当時は733人で、1976（昭和51）年度及び1977（昭和52）年度に1,200人を超えましたが、1978（昭和53）年度に花小金井南中学校が分校として開校したこともあり、1979（昭和54）年度に1,000人を割り込みました。その後概ね減少傾向となり、2015（平成27）年度に543人まで減少しましたが、それ以降、現在まで微増傾向となっています。



② 建物の状況

- 2003（平成15）年 校舎耐震補強工事实施
- 2003（平成15）年 体育館耐震補強工事实施
- 2019（令和元）年 劣化診断調査実施

校舎及び体育館について、コンクリート圧縮強度は設計基準強度を確保していました。中性化の進行度は、健全な状態を保っており、校舎の目標耐用年数は80年以上、体育館は65年程度と推定されます。

③ 更新等の適否の判断

今後の生徒数の見通しとして、新たな推計（小平市人口推計報告書補足版（令和元年8月））による町丁別将来人口では、主な通学区域となる天神町一丁目、天神町四丁目、鈴木町一丁目、鈴木町二丁目、回田町、花小金井六丁目及び花小金井七丁目における10歳から14歳までの人口の合計は、10～15年程度の期間で急激に増加し、その後減少する見込みです。

劣化診断の結果は、校舎・体育館ともに健全な状態を保っています。

将来的な統合の可能性は、「市制施行100周年（2062年度）に向けた学校の統合・配置の考え方」から、低い状況です。

なお、中学校は、小平市公共施設マネジメント推進計画において、近隣施設との複合化を前提にするものとしていないため、近隣施設の目標耐用年数到来年等の状況は勘案しません。

以上を踏まえ、小平第三中学校は、将来的な統合の可能性は低い状況ですが、劣化診断の結果により、校舎及び体育館の状態は健全であること、生徒数の減少が10～15年程度後と見込まれることから、「更新等を行わない」ものとします。当面の間は機能を維持し、体育館の目標耐用年数の推定を踏まえ、校舎の目標耐用年数到来年の2039年から10年程度継続して使用することとします。

今後は、中性化の進行に応じた適切な時期に、防水や外壁などの改修を検討します。